



# いはら陽輔

## 活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」

### 平成27年和光市議会9月定例会報告

8月27日(木)～9月17日(木)の期間で9月定例会が行われました。9月定例会では平成26年度の決算審査を行いました。決算の概要については以下の通りです。

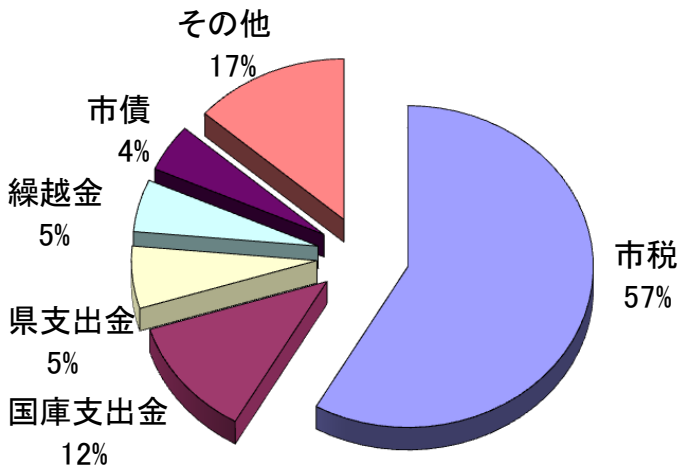
予算(予算現額)と支出(支出済額)の比較 (単位：千円)

会計名	予算	支出	差引額
一般会計	24,546,322	23,445,362	1,100,960
国民健康保険	7,515,816	7,174,651	341,165
後期高齢者	601,602	575,495	26,107
介護保険	3,227,886	2,910,030	317,856
和光市駅北口	344,904	257,826	87,078

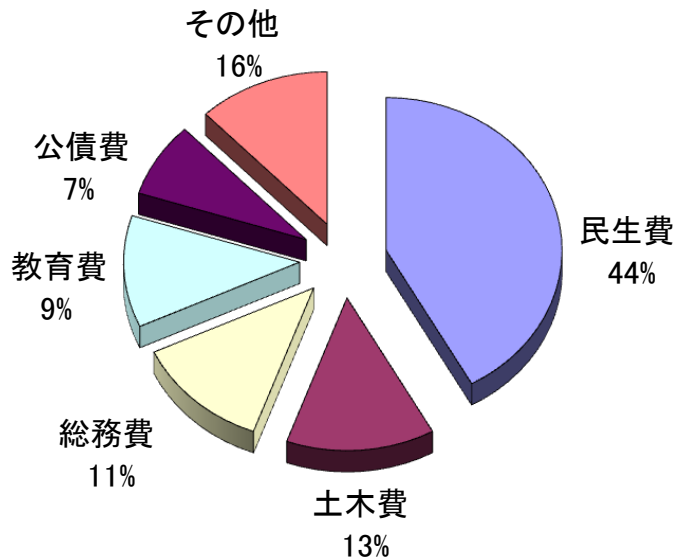
一般会計前年度決算との比較(単位：千円)

	平成25年度	平成26年度	増減額
①歳入	23,547,802	24,780,794	1,232,992
②歳出	22,274,625	23,445,362	1,170,737
③差引額(①-②)	1,273,177	1,335,432	62,255
④翌年度繰越額	200,918	157,349	△43,569
実質収支(③-④)	1,072,259	1,178,083	105,824

平成26年度一般会計決算【歳入】の内訳



平成26年度一般会計決算【歳出】の内訳



### 平成26年度一般会計決算【歳出】の主なもの

#### 民生費

- 災害時要援護者支援対策  
9万9,792円
- 民間保育園新設  
1億3,885万1,890円
- 生活困窮者自立支援  
2,094万2,220円



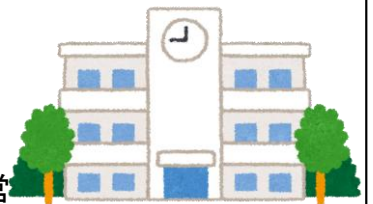
#### 土木費

- 道路標示整備(ゾーン30)  
618万6,240円
- 市内循環バス運行  
4,764万4,702円
- 道路整備  
6,096万7,653円



#### 教育費

- 和光市市立小学校建設  
2億874万8,348円
- 図書館費  
8,077万6,709円
- デジタルミュージアム運営  
38万4,048円



#### 総務費

- マイナンバー法対応  
1,393万9,560円
- 防犯灯設置・修繕補助  
24万500円
- 納税サポートセンター運営  
466万90円



# いはら陽輔の一般質問の要旨

## 地方版総合戦略(地方創生)

問：地方版総合戦略の策定において、各施策における重要業績評価指標（KPI指標）を設定し、5年後の基本目標を設定する。KPI指標は和光市総合振興計画のどの施策に適用するのかを明確にし、施策の取組内容及び施策指標に合致させる必要があると思う。総合振興計画との整合性という観点で伺う。

答：総合戦略の策定に当たっては、総合振興計画と全く異なった別の方向性を示すものではなく、市の最上位計画である総合進行計画の基本目標や基本施策に含まれるべきものと考えている。両者の整合性を図ることについては、地方版総合戦略の策定委員として、第四次和光市総合振興計画審議会の委員の方にも参画していただいている。

問：地方分権を推進してきた中で、この地方創生をどのように捉えるのか、また、自立した地域をつくる地方版総合戦略とはどのようなものであるべきか伺う。

答：従来の地方分権は集権から分権ということで、機関委任事務の全廃を始め、多くの制度改革が進められ、団体自治としての分権改革は進んできた。今回の動きは受動的な地方分権改革から主体的な地方創生改革にバージョンアップした。これらを実現するため、地域の実情に即した取り組みを総合的に推進していくことが重要であると考えている。

また、自立した地域をつくるための戦略は、国等の財政資源だけに依存せず、地域資源を生かした内発的發展を目指すことだと思う。数値目標や年次について過度にこだわらず、長期的な地域づくりを考えた、地に足のついた戦略を策定することが望ましいと考えている。

## 高次脳機能障害

問：高次脳機能障害は外傷性脳損傷や脳血管障害などの後遺症として記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などを伴う障害とされている。しかし、外からはわかりにくい症状であるため、支援の枠から外れる患者がかなりいると言われている。和光市の患者の状況および支援内容を伺う。

答：相談員や窓口を通じて、生活課題のある高次脳機能障害者を6名把握している。うち4名は地域活動支援センターのワンステップにおいて、一般就労や安定した生活を目指し、創作活動や屋外における除草作業を行っている。2名は市内グループホームに入居し、生活介護施設「ゆめちか」

にて社会活動や創作活動を行っている。また、障害者ではなく介護分野では、8月末現在で36名の高次脳機能障害を持った方に対して要介護認定をして、介護サービスを提供している。

支援内容については、相談専門員が当事者のアセスメントを行い、サービス等利用計画を作成し、ケア会議において、医療連携を基本としたプランの精査をし、サービスの提供を行っている。

今後の方針は、地域包括ケアシステムの中で医療機関との情報共有により、高次脳機能障害者の把握及び入院や退院後の支援を充実していく。

## 多世代間交流

問：子どもと高齢者が交流することにより、子どもは高齢者の優しさに触れる一方で、高齢者をいたわる心を醸成し、健全な青少年に成長していくことが期待される。高齢者は子どもの面倒をみる事により生きがいを感じ、認知症の予防、あるいは症状の進行の抑制が期待でき、ひいては医療費の削減につながると思う。市は子どもと高齢者の交流についてどういう考えを持っているか。

答：高齢者と子どもの交流は双方に効果が得られるものと認識している。また、交流のあり方も様々な形があり、特に地域包括ケアシステムを構築していく上では、高齢者が自ら子育て経験や技能を生かして、子育て施策の一翼を担っていただくことに期待を寄せている。

## 学童保育クラブの保育時間延長

問：保育園で延長できる時間は午後8時までだが、保育クラブは午後7時までとなっている。この1時間の差があるため、子どもが小学生に上がった途端に、仕事面を含めた生活スタイルが変わり、対応に苦慮している家庭がある。保護者のニーズについてどう考えているのか伺う。

答：保育クラブの指定管理の満了にともない、今後5年間、指定管理者となる事業者について公募、選定を行った。選定された事業者は市の公募要項に基づき、午後7時以降の延長保育や学校休業中の午前8時前の開所については、保護者の必要度や子供の発達への影響、費用対効果を含め市と協議するとの提案がされているので、市としても保護者のニーズにより検討をしていく。

※一般質問の詳細につきましては市議会会議録をご覧ください。

## infomation

### 12月定例会の開催予定

12月 3日(木)	議場ミニコンサート、開会、提案説明
12月 9日(水)	議案に対する質疑
12月10日(木)	総務環境常任委員会
12月11日(金)	文教厚生常任委員会
12月14日(月)	市政に対する一般質問
12月15日(火)	市政に対する一般質問
12月16日(水)	市政に対する一般質問
12月17日(木)	市政に対する一般質問
12月21日(月)	委員長報告、討論、採決、閉会

※正式な日程は12月1日(火)の議会運営委員会で決定します。

公式ウェブサイトをご覧ください  
<http://iharayosuke.com/>

和光市議会議員

いほら陽輔

今こそ始める 和光の未来づくり

無所属  
新人  
34歳



いほら陽輔

検索

発行：和光市議会議員 いほら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▷048-201-0791

E-mail ▷ihara.yosuke@gmail.com

Twitter ▷@iharayosuke